



▲塗ったファブリエをこすり取ることで新しい表現が可能。made in JAPAN

## ファブリエをペースト染料のように使う 革用「リムーバー」新発売

SEIWA は 2020 年 4 月、樹脂顔料ファブリエの拭き取り用「リムーバー」を新発売します。本品は革専用で、ファブリエの塗布後、乾燥前にウエスに含ませて拭き取ることで、凸部が除去され、凹部に残り、ペースト染料のような使い方ができます。染料と組み合わせて、革の染色表現の可能性を広げます。容量 100ml、価格は 450 円 + 税です。[ご注意]革専用です。布にはお使いいただけません。乾燥したファブリエは落とせません。

### ファブリエ リムーバー

ファブリエの拭き取り表現に

【価格・JAN】 450円(税抜) / 4560263380470

## 〈商品特徴〉 裏面にリムーバーの使い方を紹介

### 1. ファブリエをペースト染料のように使う



▲ムラ染めをして、ファブリエでアンティーク感を出したコインケース



ファブリエの塗布後、乾燥前に拭き取ることで、凸部が除去され、凹部に残ります。これにより陰影を強調させたり、アンティーク感を出すことができます。

写真はバチックで地染め後にファブリエを全面に塗り、リムーバーで拭き取ったもの。

ラメ入りの [Glitter] や光の反射で色彩が見える [Pearl] など、ファブリエの多彩なラインアップがお使いいただけます(注:POP以外)。

### 2. イニシャルやブランド名などのスタンピングを際立たせる



◀ イニシャル刻印にファブリエを流し込み、リムーバーで拭き取り。仕上げはレザーフィックス。

ファブリエを目打ち等に取り、凹部に流し込むように色をつけ、乾燥前にはみ出た部分を拭き取ります。染料には難しい、メリハリのある色合いで、スタンピングが際立ちます。

※ファブリエの完全除去は、できません。また、成牛タンローなど明るい色合いの生成り革に、黒、茶等のファブリエを使うと、毛穴深くに入った部分が取りにくく、跡が残りやすくなります。

〈リムーバーの使い方〉 型押し革、スタンピングした革におすすめです。

## ファブリエをペースト染料のように使う



01 エンボス押しのヌメ革をサンプルに使います。バスケット等のスタンプもおすすめです。周囲を汚さないように古新聞紙等を敷いておきます。



02 全体を水で湿らせます。染料がマダラにならないように、必ず水を含ませましょう。



03 バッチクの「黄」で地染めします。あとで使うファブリエと明確に色が異なるほうがメリハリが効きます。



04 バッチクの「朱」でランダムに染めます。色はお好きなものを使っていたいただいて構いません。



05 ササッとカンタンに模様っぽくします。太さや多少のムラも味になります。



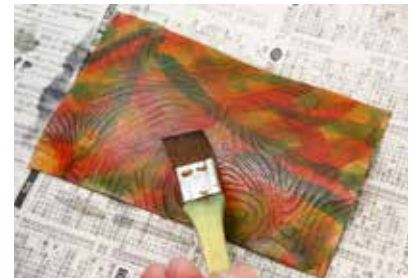
06 バッチクの「赤」でさらにランダムに染めます。同系色を使うとまとまりのある感じになります。このあと「緑」も使いました。



07 ファブリエにごく少量の水を加え、やわらかくして革全体に刷毛で塗ります。



08 3分～5分後(最大20分後)、ファブリエが半乾きの状態で、リムーバーをウェスに含ませ、革の表面をこすります。次第に凸部のファブリエが剥がれます。



09 凸部のファブリエがなくなり、凹部に残る状態になったら、30分程度(理想は1日)乾燥させます。最後にレザーフィックスを塗って仕上げします。



10 レザーフィックスを塗ると色に深みとツヤが出ます。乾燥時間が取りにくい場合は、ドライヤーを使います。

### 目打ちで凹部にファブリエを入れる



イニシャル刻印やバスケット等、スタンピングした部分を際立たせましょう。目打ちやくじりにファブリエをつけ、凹みの部分にファブリエを入れます。約5分後(最大20分後)、はみ出た部分のファブリエをリムーバーで拭き取ります。  
※ファブリエの完全除去はできません。